

始良・伊佐地区生涯学習推進大会

【 講演 】

演題:「明治維新150年 明治維新の薩摩とその原点を考える」

講師:株式会社島津興業 取締役相談役 島津 公保 氏



島津氏は、鹿児島県教育委員会教育委員をはじめ、鹿児島商工会議所副会頭、一般財団法人産業遺産国民会議理事など、鹿児島の教育振興、地域振興、観光振興活動に関わる多くの公職も務めておられます。また、平成27年に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の登録準備に当初から関わり尽力されました。最近では、かごしま青年塾の基調講演の講師など幅広く活躍しておられます。

当日は、「明治維新150年 明治維新の薩摩とその原点を考える」と題し、近代国家の幕開けに大きな役割を果たした薩摩について、資料や画像を織り交ぜて、講演していただきました。

【講演の要旨】

- ・明治維新を考える・・・ 明治維新は、武士による封建的幕藩体制からの近代国家への大変革であるが、その意味や捉え方は一つではない。
- ・鹿児島(島津氏)の歴史・・・ 島津氏700年の定住統治から海洋国家薩摩や、日新公いろは歌や郷中教育などの独自の精神文化が確立された。
- ・明治日本の産業革命遺産・・・島津斉彬の近代化政策が進む背景には、薩摩の高い在来技術と教育の存在があった。薩摩の歴史を学ぶことにより先人たちの偉業を知り、その志を後世へ生かすことが大切である。

講演後には、参加者から、「『日本の近代化は、日本の西洋化ではなく、西洋の日本化である』という捉え方が意外な発見でした。」「鹿児島を誇りに思っています。」との感想をいただきました。

【 活動発表 】

◆薩摩琵琶演奏(島津 義秀 氏)(始良市)

薩摩琵琶の伝承にまつわる話と薩摩琵琶歌「蓬萊山(ほうらいさん)」の演奏がありました。薩摩琵琶は、郷中教育の中で天吹と自頭流とともに青少年の教育に推奨されていた楽器です。参加者は荘厳な音に引き込まれ、演奏後には会場が大きな拍手に包まれました。



◆県青少年ふれあい事業報告(米盛さん、坂元さん)(伊佐市)

伊佐市の高校生2人が香港の研修で体験したことや感じたことをプレゼンテーションソフトを効果的に活用して紹介しました。伊佐市のジュニア・リーダークラブ「レインボーキッズいさ」の



後輩にも自分たちに続いてほしいと切望していました。グローバルな視点でこれからの日本を考えようとする高校生の頼もしさが感じられました。

◆古布創作教室(湧水町)

古布創作教室の12人は、講師の蔵内順子先生の指導の下、ダンスの中で眠っている着物を洋服やバッグなどの素敵な作品にリメイクしています。当日は、軽快な音楽に合わせて自慢の作品をステージいっぱい披露しました。明るい笑顔とリズムカルなウォーキングが終始参加者を魅了しました。



◆少年の主張「兄の遺したもの」(篠原さん)(霧島市)

篠原真夏さんは、ビデオの中ですやすやと眠る兄を直接知りません。病魔に冒され7歳でその生涯を閉じた兄が遺してくれた大切な家族の愛について参加者の心に強く訴えました。この弁論は、第40回鹿児島県大会少年の主張鹿児島県大会最優秀賞、第40回少年の主張全国大会努力賞を受賞しています。



【始良・伊佐地区社会教育振興会表彰】

始良・伊佐地区の各市町において、社会教育の振興に特に顕著な業績をあげた6個人、3団体を表彰しました。

【個人の部】

氏名・(市町名)	表彰部門
白坂好孝 (伊佐市)	地域づくり
栗巢勲 (伊佐市)	地域づくり
江口秀丸 (始良市)	文化財保護
法元隆男 (始良市)	芸術文化活動
宮田雅生 (始良市)	地域づくり
市来隼人 (湧水町)	芸術文化活動



【団体の部】

団体名・(市町名)	表彰部門
中・高校生クラブ「ひまわり」 (霧島市)	社会教育団体活動
霧島市横川地区子ども会育成 連絡協議会 (霧島市)	社会教育団体活動
牛尾棒踊り保存会 (伊佐市)	芸術文化活動

【 展 示 発 表 】

霧島市、伊佐市、始良市、湧水町の生涯学習の取組を展示しました。各市町の子どもたちの体験活動や公民館講座の様子など、特色ある活動が紹介されていました。

